

案 件	第4回 阪南市地域子育て拠点再構築PT会議
日 時	平成28年12月26日(月) 15:30~17:30
場 所	阪南市役所3階 全員協議会室
出席者	総務部理事2名 公立幼稚園長4名 公立保育所長3名 プロジェクトメンバー11名 (欠席1名)
<p>■会議の要旨</p> <p>(プロジェクトの概要説明)</p> <p>第4回PT会議において、テーマを作らず、自由な意見を述べていただくこととして、4園3所の園長、所長の参加による意見交換会を行った。</p> <p>冒頭、参加された4園3所の園長、所長には、地域子育て拠点再構築プロジェクトにかかるミッションや進め方について、平成28年12月13日付け開催された総合こども館特別委員会の資料1により説明。</p> <p>PT事務局としてのたたき台資料(未定稿)記述の阪南市における幼稚園・保育所の定員・園児数の状況と阪南市における幼稚園・保育所、子育て施設の現状と課題についてPTメンバー含めて、1月6日(金)までに資料の加筆修正をお願いした。</p> <p>総合こども館計画でこれまで積み上げてきたもの、とりわけ、園長・所長合同会議にて議論してきた内容について、活用できる内容については活用していくので、コンパクトな形で資料を整えながら、また、市民への情報提供もしながら議論を進める。</p> <p>(保護者説明会等について)</p> <p>1月下旬から順次予定している幼稚園、保育所、子育て支援センター保護者説明会では、平成30年4月に開館予定だった(仮称)総合こども館計画の見直しを伝えるとともに、現状の課題把握、ニーズの把握をテーマに発言をお願いする。また、ワークショップにかかる参加要請のアナウンスもする。司会進行は未決定であるが、人数調整の上で、PTを中心とした形を予定。</p> <p>なお、園、所からは必ず代表者をワークショップに出していただき、年度替わりでの保護者代表者変更は、園に任せる意向。</p> <p>(園長、所長参加による意見交換会)</p> <p>○ハード面に係る意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番気になっているのはハード安全面。 ・空調設備については、幼稚園は4、5歳児には設置されておらず、3歳児の保育室のみ設置されており、子どもの体調管理には十分配慮しているが、熱中症等体調面が心配される。 ・雨漏りは施設のいろいろな箇所で起きている。 ・最近はお家庭でも洋式トイレが主流である。園には各学年にトイレがあるが、洋式トイレが少なく、また、行事や地域交流時には年配の方もこられるので、洋式トイレの増設を 	

要望する。多目的トイレもない状況。

- ・施設の老朽化によって外観や内部の目立つ場所の汚れなど、保護者からの指摘が時々あり、保護者に安心感をもってもらう施設としていただきたい。
- ・駐車場の不足と正門前の道路が狭いという立地のため、送迎時における交通安全対策の諸問題がある。
- ・災害時対応としては、園庭は広い。近くには小学校（耐震済みの施設）もある。
- ・土砂災害の指定を受けており不安。
- ・園庭の遊具が少なく、老朽化している。
- ・倉庫の面積が小さく、遊具・用具の収納スペースが課題である。
- ・空き部屋が無いので、PTAの交流の場の確保が難しい。
- ・施設においては、バリアフリー対応が出来ていない。
- ・既設排水管設備を含めて抜本的な改修ができない状況。
- ・保育所については、病気になった子どものために看護師はいるが、保健室の環境が全く整っていない。
- ・電気容量の限界で厨房室にエアコンが増設出来ない。
- ・保育所の現状から、居ながら施工での改修工事は無理。
- ・今の場所での改築計画は無理。修理はありがたいが、耐震も出来ていないので、結局、中身だけの修理は無駄では？

○ソフト面に係る意見

- ・公立幼稚園が大切にしてきたことは、地域との繋がり、自然とのふれあい、小学校との連携。
- ・保護者アンケート（4園でまとめたもの）で、何故、公立幼稚園を選びましたか？の問いに対し、一番多いのは、遊びを中心としたのびのびとした保育の中でいろいろな体験をさせてくれる、二番目に、自然との関わりが豊富であるという意見であった。特に自然との関わりが豊富であるという点は、阪南市の保護者のニーズとして認識が高く、こうした良さが継続できる施設にしていきたい。
- ・阪南市は就学前の教育施設として、公立幼稚園、公立保育所、私立幼稚園、私立保育所があって、保護者が行きたいところを選択できるところが理想。
- ・不審者対応について不安との意見（保護者アンケートより）がある。
- ・人の配置に関して、世代交代があって中堅が少ない状況で若い先生が多く、次世代への継承が難しい。一極化はもとより、統合時には人の配置を熟考する必要がある。
- ・教育、保育ニーズについて、公立が担うところは大きい。子どもたちの学び環境が失われているという社会情勢の中で、豊かな体験、豊かな学びを保証してあげるべき。
- ・小学校への接続、連携を強め、スムーズな就学につなげることは、今日的課題である。
- ・親育ちの支援、地域と家庭の教育力の再生と向上が公立幼稚園の役割の一つである。
- ・預かりの保育ニーズは高い。短時間でも勤務されている保護者が多いので、預けたいというニーズを考えていく必要がある。

- ・公立は一人一人の子どもを大切にサポートしているとの保護者からの声があり、信頼に繋がっている。
- ・これからのニーズということでは、子育ての拠点として考えていくことが大事。
- ・子ども支援だけではなく、家庭支援も大事にし、サポートしていきたい。
- ・こどもたちを避難させる時に、3歳児から5歳児は自らの足で走れるが、0歳から2歳児の子どもを安全に避難場所まで連れて行けるのかという課題がある。
- ・保育士が足りない現状。待機児童が増えていくのではないかな？
- ・近くに保育所があるからこそ、保護者は安心して働くことができる。
- ・就学前人口の減少について、保育所はすごい役割をもっている。就労している保護者支援として、保育所を開けて保護者を待っているが7時を過ぎることもある。子育ての不安にも相談にのることで、子育て不安は解消される。
- ・公立を選択することについて、私立では保育料3ヶ月滞納すると退所と云われると聞いている。公立でも滞納のケースはあるものの、こども家庭課がしっかり見守って対応している。
- ・子育て支援事業計画にもあるように、子どもが減る中、幼保連携認定こども園の検討は必要。
- ・認定こども園になれば保護者の就労により分断されることはない。
- ・非常勤職員の不足、看護師はいない。介助員も不足、保育士も調理師も不足。現状の職員でまかなっているが、非常に厳しい。
- ・幼稚園や保育所の枠にとらわれず、阪南市に育つ子どもとして、教育・保育を受け、小学校との連携や地域との関わりも十分していくことが一番大事。

○その他の意見

- ・尾崎幼稚園は、福島幼稚園と西鳥取幼稚園が統合した時に、建て替えるという説明が地域に対してあったが、現在、実現されていない。
- ・3所4園を残すことは難しいかもしれないが、公立として最低でも一つの保育所、一つの幼稚園は残していく形で進めていくことはどうだろうか。
- ・公共施設と総合管理計画について、市としてこれからどのくらいの資金がいるのかを試算した上で考えなければならない現状にある。保護者の中に、7施設を全部残すことを希望されている方がどれだけいるのであろうか？本当は建て替えて欲しい、改修して欲しいと思われる方もいるのであろうが、2極化、3極化でも理解を得られるのではないかな。地域や、子どもを大事にした教育保育がなされるのであれば、納得してもらえるのではないだろうか。但し、集約の仕方については、熟考する必要がある。
- ・これまでの園長所長会議では一極化のメリットは、同じ就学前教育が受けられることであり、デメリットは地域との繋がりが難しいという点があげられた。。7園所とまでは云わないが、3園所ぐらいは最低必要ではないかな。
- ・地域に必要な施設として、公立を何カ所か残して欲しい。いずれは民間になっていっても仕方ないと思う財政事情。民間になっても良いような施設を建てて欲しい。認定こども

園としての施設を考えていくべき。

- ・教育、保育をアピールしたまちづくり。

(公立園所での地域とのかかわりの現状)

・校区の方との福祉交流会、七夕の季節での交流、餅つき大会、婦人会の方から盆踊りを習ったり、絵本の読み聞かせをしていただいたりなど、季節折々にゲストティーチャーとして地域の方からいろいろな事を教えていただいている。

・畑を借りているが、畑の手入れに月4～5回きってもらっており、子どもに野菜の植え方を教えてもらったり、収穫してくれたり、子どもたちと一緒に活動してくれている人がいる。

・昔ながらの遊びを地域の方、10数名で来ていただいて伝承あそびを教えてもらっている。こま回し、焼き芋大会、地域福祉施設との交流、地引き網体験、アサリ堀体験、つくし文庫の読み聞かせ、中学生の職業体験、しめ縄作りなど。

(その他)

・認定こども園について、幼稚園を全部一気にというのは、難しい。幼稚園と保育所という名前を残しつつ、認定こども園は時代の流れかと思うが、段階的にというイメージで考えていくのはどうか。

・在宅の子ども支援も課題と考えている。

・預かり保育、幼稚園型認定こども園により就労しやすくなるが、幼稚園を残して欲しいという保護者の声は多かった。

(地域の大きさについて イメージ)

・4地域⇒尾崎、西鳥取、東鳥取、下荘

・3地域⇒遠距離ではない保護者の負担が少ない。(就労からのイメージ)

以上